

正 会 員 各 位

2019年5月1日

公益社団法人 大阪府栄養士会
会長 藤原政嘉



令和元年度公益社団法人大阪府栄養士会 第6回定時総会・特別講演会開催について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は栄養士会のために種々のお力添えを頂きありがとうございます。

このたび、標記の通り総会を開催することになりましたので、ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、多数ご出席くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

日 時 2019年5月25日（土）13時30分～16時50分（予定）
会 場 大阪リバーサイドホテル 6階 大ホール
交 通 JR環状線「桜ノ宮」駅下車西出口 徒歩約2分

特別講演 「糖尿病とフレイル」 13：40～15：10
講師 大阪大学大学院 医学系研究科 老年・総合内科学 助教 赤坂 憲

平成28年「国民健康・栄養調査」によると、「糖尿病を強く疑われる者」は約1000万人「糖尿病の可能性を否定出来ない者」も約1000万人とされ、平成19年以降減少に推移している。また、平成29年の糖尿病学会「糖尿病の死因に関する調査会」の調査では、糖尿病患者の平均死亡年齢は男性で71.4歳、女性で75.1歳で、その前の10年間に比べ男性で3.4歳、女性で3.5歳が延びていると報告され、その死因の第1位は悪性新生物（がん）38.3%で、第2位は感染症17%、第3位が血管障害14.9%となっている。

糖尿病患者は短命といわれているが、糖尿病のみが直接の死因ではなく、「がん」や「感染症」「血管障害」等が合併することにより死亡年齢を下げていると推察される。

また、糖尿病患者の平均寿命の延伸する状況で「フレイル」を併発し、日常生活の動作が悪化し、QOLの低下を招いているという報告もある。

今回、「糖尿病とフレイル」の関係について造詣の深い先生にご講演いただくことになりました。

会員の皆様には奮って参加いただき、最新の情報を得て日常の業務に活用していただきたく思い、ご案内申し上げます。

総会議題 第1号議案：平成30年度事業報告及び正味財産増減決算書並びに貸借対照表、
財産目録、監査報告に関する件
報 告：令和元年度事業執行計画、予算について

出欠の回答は必ず同封のはがきを5月22日（水）までに投函をお願いします。欠席予定の方は委任又は書面表決のうえ5月22日（水）までに必ず投函をお願いします。

※総会終了後に例年実施しております交流会（懇親会改称）を開催する予定です。（17:45 予定）
会員同志、並びに賛助会員様との意見交流を図っていただきたく、是非ご出席ください。

お願い：総会欠席の際は必ず委任状（同封のはがき または、ホームページにて）をご返送ください！なお、総会出欠届（ホームページ含む）をご返送いただいた会員の方には、生涯教育受講券（1単位分）を送付いたしますので、研修にお役立てください。